



- ①よさを伸ばし合う子ども
- ②つながりを大切にする子ども
- ③自らとふるさとを拓く子ども



まとめの3学期です!

保護者の皆様、あけましておめでとうございます。昨年中は本校教育活動に対し、ご支援ご協力いただきまして、心より感謝申し上げます。

さて、いよいよ1年をしめくくる3学期が始まりました。あっという間に終わる学期ですが、4月の進学・進級に向けた準備のための大事な学期でもあります。

今年も安心・安全に気を配り、子どもたちが健やかに成長できるよう教育活動を進めていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

始業式

始業式では、1・5年の代表児童が「冬休みの楽しかった出来事や3学期のめあて」を発表しました。いずれも堂々とした発表でした。その後、全校で大きな声で校歌を歌い、3学期をスタートしました。

〈校長の話〉

新しい年「令和7年」を迎えました。今年の干支は、「巳（へび）」です。この「巳」という文字は、「物事の成長が頂点に達して止まっている状態」を表しているそうです。つまり、巳年は、「これまでのがんばってきたことが結果につながり、目標に近づく」といった縁起のよい年になるそうです。また、へびは皮を脱ぎ捨て、新しい姿へと生まれ変わることから、新しい自分へと生まれ変わるチャンスを与えてくれる年になるともいわれています。

このあと、学級で3学期の目標を立てると思いますが、自分を大きく成長させることのできる目標を考えてほしいと思います。

さて、3学期は一番短い学期です。1～5年生は、登校日が46日、6年生は40日です。そんな短い期間で、次の学校、学年に向けて準備をすることになります。

新たな成功を目指して、何かにチャレンジするのに最適な巳年です。令和7年が、みなさんにとって、さらに「成長する年」となるよう、がんばっていきましょう。

〈児童代表〉3学期のめあて



1年 佐藤 碧城 さん
4月に入学してくる新1年生に、掃除の仕方を教えてあげられるように、掃除をがんばっていききたい。



* 恵菜さんは、始業式当日、欠席でしたが、発表予定だった内容を紹介します。

3年 武田 恵菜 さん
自学をがんばることや給食を残さず食べることを続けていきたい。自分の苦手なことにも挑戦していききたい。



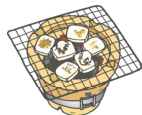
5年 難波 日菜 さん
最高学年になることを見据え、係活動や委員会活動などで、下級生に見本となる行動を示していききたい。

☆書き損じはがき拋出のお願い☆

秋田県PTA連合会では、例年「書き損じはがき」の拋出運動を実施しています。

御家庭で書き損じた年賀はがきや普通のはがき、古い未使用のはがきを受け付けております。お子さんに持たせてください。御協力よろしくお願いいたします。





3学期の主な行事

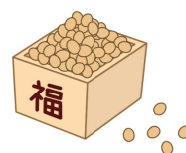
【1月】

- 14日 (火) 3学期始業式
- 15日 (水) 全校漢字テスト (～17日)
- 16日 (木) 身体測定
- 22日 (水) 活動委員会
- 24日 (金) 新入学児童保護者説明会
集金日
- 28日 (火) かもめ読み聞かせ
- 31日 (金) 八峰中入学説明会

【2月】

- 5日 (水) 2年算数科授業研究会
- 6日 (木) 1・2年豆まき集会
なわとび集会
- 7日 (金) 児童集会

- 11日 (火) 建国記念の日
- 13日 (木) 避難訓練
- 21日 (金) 学年末PTA
- 23日 (日) 天皇誕生日
- 24日 (月) 振替休日
- 25日 (火) かもめ読み聞かせ
- 26日 (水) 活動委員会
- 27日 (木) 6年生ありがとう集会
- 28日 (金) 登校班長会



【3月】

- 3日 (月) 地区児童会
- 5日 (水) 活動委員会 集金日
- 12日 (水) 卒業証書授与式
- 20日 (木) 春分の日
- 21日 (金) 修了式
- 22日 (土) 春季休業日 (～4/3)
- 28日 (金) 離任式



小中連携 奉仕活動

12月26日(木)、八峰中の生徒と一緒に各地区で奉仕活動を実施し、コミュニティ・センターの雪かきや施設内の清掃などを行いました。限られた時間の中での活動でしたが、地域の一員として、地域に貢献できた充実した活動になりました。

活動にご協力くださった自治会長さんや地域・保護者の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



【滝ノ間・横間】



【岩館】



【八森1】

つぎ

二〇二五 新年を迎えて

かつての教え子から、今年も年賀状が数枚届きました。

初めて中学校で教壇に立ったときの教え子の年賀状には、高校生や中学生の自分の子どもの写真が印刷されています。それを見ながら、目元や口元がすっかりだなどと思わず目を細くしてしまいました。

また、今年度、二十歳を迎えた教え子の年賀状には、きれいに着飾った着姿が。数年でこんなに変わるものかと、目を丸くしました。

年賀状を交わすのは、日本の新年を彩る伝統的な慣習です。

しかし、近年はSNSの影響や郵便はがきの値上げにより、『年賀状じまい』の動きが加速しているといえます。年賀はがきの発行枚数は、前年に比べて4億枚近く減ったとのこと。

確かに私自身も親交の深い友人や親族とは、SNSで済ませ、ここ数年は、やり取りする年賀状の数もかなり減りました。

ただ、普段なかなか会うことができない人との繋がりを感ずることができているのが、年賀状です。

年一度だけのやりとりであっても、年賀状に直に書かれた文字を目にするだけで、その人を近くに感じる事ができます。また、相手が健康であることを知り、嬉しい気持ちになるものです。そして、こちらもまだまだ老けてはられないという思いになります。

大学4年間、同じ下宿で過ごした同期生の年賀状には、「もういい歳なのだから、お互い、健康に留意して過ごそう」の文字。大学卒業後、一度も会っていませんが、小さく、丸っこいそれを見て、懐かしい思いになりました。

